

- みどり色の欄を、はっきりと 楷書で記入してください。
●訂正は、二重線を引き、その上に印鑑（シャチハタ不可）を押してください。

児童手当

額改定認定請求書
額 改 定 届

		提 出 年 月 日		※受付確認年月日				
		令和 ●●・●●・●●		令和 ・ ・				
受給者	(ふりがな) 氏名 (法人名等)		かめおか たろう 亀岡 太郎		住所 (法人の主たる事務所の所在地) 〒 621-8501 亀岡市釜ヶ前82番地 電話 〇〇〇 (××××) △△△△			
	性別	男・女	生年月日	昭和 ●●・●●・●● 平成 ●●・●●・●●	加入している 公的年金制度の種別 ア 厚生年金保険 イ 国民年金 ※以下の共済組合の組合員である場合 ウ その他 は括弧内に○を記入してください。 () () 私立学校教職員共済 () 国家公務員共済 () 地方公務員等共済			
	職業	ア 被用者 イ 公務員 ウ 被用者等でない者						
増 額 又 は 減 額 の 別					増 額 ・ 減 額			
増 額 又 は 減 額 の 原因 と な る 児 童								
氏名	続 柄	生 年 月 日	同居・ 別居の別	海外留学をしてい る場合の出国年月	住所	監護の 有無	生計 関係	※児童との関係で、該 当する場合に○印
亀岡 一郎	子	平成 ●●・●●・●● 令和 ●●・●●・●●	同・別	令和 年 月	請求者に同じ	有・無	同・維持	・未成年後見人 ・父母指定者 ・同居父母
高校生年代までの児童(18歳に達する日以後の最初の3月31日に達するまでの間にある児童)について記入してください。 ・「監護」とは、子どもの面倒をみていることをいいます。監護の有無には特別な事情のない限り、『有』に○をしてください。 ・「生計関係」について、児童の父母が養育している場合は『同一』、父母以外が養育している場合は『維持』に○をつけてください。 ・同居か別居に○をしてください。児童の住所が「別居」である場合は、「別居監護申立書」の提出が必要です。								
増 額 又 は 減 額 の 原因 と な る 児 童 の 兄 姉 等 (18歳に達する日以後の最初の3月31日を経過した後22歳に達する日以後の最初の3月31日までの間にある者)								
氏名	続柄	生年月日	同居・ 別居の別	海外留学をしてい る場合の出国年月	住所	監護相当 の有無	生計費 負担 の有無	
亀岡 さくら	子	平成 ●●・●●・●●	同・別	令和 年 月	請求者に同じ	有・無	同・維持	
18歳に達する日以後の最初の3月31日を経過した後22歳に達する日以後の最初の3月31日までの間にある子について記入してください。 ・「同居・別居の別」、「監護相当の有無」、「生計費負担の有無」については、上記記載方法を参考に記入してください。 ・この欄に記載がある場合は「監護相当・生計費の負担についての確認書」の提出も必要です。								
増 額 し た 理 由			ア 出生 イ その他 (制度改正に伴い対象が拡大したため)					
減 額 し た 理 由			ア 死亡した イ 監護しなくなった ウ 生計を同じくしなくなった エ 生計を維持しなくなった オ 日本国内に住所を有しなくなった (留学を理由とするものを除く) カ 未成年後見人でなくなった キ 児童の兄姉等を監護相当の世話をしなくなった ク 児童の兄姉等の生計費の負担をしなくなった ケ 父母指定者でなくなった (児童の生計を維持する父母等の帰国) コ 児童自立生活援助を受け、里親等に委託され、又は児童福祉施設等に入所若しくは入院するに至った サ 児童と同居しなくなった (単身赴任の場合を除く) シ その他 ()					
事由の発生した年月日					令和 ●●・●●・●●			
備 考	※ 認 定 ・ 改 定 ・ 却 下		※認定・改定・ 却下年月日		※認定・改定 年月		※手当月額	
			令和 ・ ・		令和 ・ ・		3歳未満分 円 3歳以上分 円 計 円	

- ◎ 裏面の注意をよく読んでから記入してください。
◎ ※印の欄は、記入しないでください。
◎ 字は、楷書（かいしょ）ではっきり書いてください。